

2025 年度 長岡大学シラバス

授業科目名	産業史 (History of industries)					担当教員	権五景 (グオン オーギョン)
2020-23 年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性
	2036-0-33-085	専門科目	選択	2 単位	3 年次	後期	
2024-25 年度 入学者(24K-25K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性
	2436-0-33-024	専門科目	選択	2 単位	3 年次	後期	

① 授業のねらい・概要
人類発展の歴史は産業発展の歴史でもある。狩猟から農耕、牧畜へ、徒歩から自転車、自動車、飛行機の利用へ、寒さの凌ぐための服から自己主張をするための服へ。このような発展ができた背景とそれから学ぶべきことについて、「地理」「文化」「人の移動」をキーワードとして多くの産業を解説していく。また、履修者各自が上場企業 1 社を選び、その企業が属している産業に関する新聞・雑誌の記事を熟読していく。授業の水準は基礎応用の水準である。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
職業人として通用する能力 / 専門的知識・技能を活用する能力
③ 授業の進め方・指示事項
毎回、講義資料の解説と復習を兼ねた質疑を行うことで、理解の確認と知識定着を進める。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
なし
⑤ テキスト（教科書）※授業で使用する。
なし。授業開始前にクラスルームにレジメを公開する。
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。
なし
⑦ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
経済学や経営学から一歩下がって産業を見ることの大事さや株式関連ニュースについて他人に解説できるような授業を目指す。
⑧ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 授業で取り上げた産業の歴史（栄枯盛衰）について「地理」「文化」「人の移動」をキーワードとして説明できるようになる。 (ii) 先進国と途上国間の経済格差について「地理」「文化」「人の移動」をキーワードとして説明できるようになる。 (iii) 株式市場（例えば、半導体関連株、再生エネルギー関連分野）に関するニュースを説明できるようになる。

⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 産業別歴史	産業別歴史の背景や発展過程に関して「地理」「文化」「人の移動」上の因果関係に基づき、自分の言葉で他者に明確に説明できる。	産業別歴史の背景や発展過程に関して「地理」「文化」「人の移動」上のキーワードを並べながら説明できる。	産業別歴史の背景や発展過程に関して資料等を見ながら説明できる。	産業別歴史の背景や発展過程に関して資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる。	産業別歴史の背景や発展過程に関して資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない。
(ii) 産業の観点から見る国家間経済格差	産業化に成功した国の背景に関して「地理」「文化」「人の移動」上の因果関係に基づき、自分の言葉で他者に明確に説明できる。	産業化に成功した国の背景に関して「地理」「文化」「人の移動」上のキーワードを並べながら説明できる。	産業化に成功した国の背景に関して資料等を見ながら説明できる。	産業化に成功した国の背景に関して資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる。	産業化に成功した国の背景に関して資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない。

(iii) 株式市場ニュースへの高い理解	自分が選んだ上場企業の株価推移に関して因果関係に基づき、自分の言葉で他者に明確に説明できる	自分が選んだ上場企業の株価推移に関して自分の言葉で説明できる	自分が選んだ上場企業の株価推移に関して資料等を見ながら説明できる	自分が選んだ上場企業の株価推移に関して資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受けて説明できる	自分が選んだ上場企業の株価推移に関して資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない
----------------------	---	--------------------------------	----------------------------------	--	--

⑩ 学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%		15%	20%	15%		100%
(i) 産業別歴史	40%			10%	5%		55%
(ii) 産業の観点から見る国家間経済格差	10%		5%		5%		20%
(iii) 株式市場ニュースへの高い理解			10%	10%	5%		25%
フィードバックの方法	毎回の授業の冒頭にクラスルームの掲載内容について触れていく。						

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）	
1	オリエンテーションとニーダムの問題	要点を整理し、一つ以上の疑問を持つ。	120 分
2	大航海時代前後の産業史	要点を整理し、一つ以上の疑問を持つ。	120 分
3	産業革命	要点を整理し、一つ以上の疑問を持つ。	120 分
4	コーヒーの産業史	要点を整理し、一つ以上の疑問を持つ。	120 分
5	ゴム産業史／香水産業史	要点を整理し、一つ以上の疑問を持つ。	120 分
6	製菓の産業史／チョコレートの産業史	要点を整理し、一つ以上の疑問を持つ。	120 分
7	ジュエリーの産業史／時計の産業史	要点を整理し、一つ以上の疑問を持つ。	120 分
8	コシヒカリの産業史／しゃぶしゃぶの産業史	要点を整理し、一つ以上の疑問を持つ。	120 分
9	コンビニエンスの産業史	要点を整理し、一つ以上の疑問を持つ。	120 分
10	欧州・アメリカにおける地域産業史	要点を整理し、一つ以上の疑問を持つ。	120 分
11	日本における地域産業史	要点を整理し、一つ以上の疑問を持つ。	120 分
12	ソフトバンク、Google、Apple、Amazon、Levi's、Nestlé の共通点	要点を整理し、一つ以上の疑問を持つ。	120 分
13	地域間格差の是正策としての地域産業	要点を整理し、一つ以上の疑問を持つ。	120 分
14	学生たちの発表（Ⅰ）	要点を整理し、一つ以上の疑問を持つ。	120 分
15	学生たちの発表（Ⅱ）と振り返り	要点を整理し、一つ以上の疑問を持つ。	120 分

⑫ アクティブラーニングについて
授業の進行方法は講義と復習を兼ねた簡単な質疑応答で構成される（知識定着・確認型 AL）。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性